

第80回国民スポーツ大会西目屋村準備委員会
設立趣意書

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として広く親しまれ、スポーツの普及と発展はもとより、国民の健康増進と体力向上、そして豊かで活力ある地域づくりに大きく寄与してまいりました。

青森県では、昭和52年「心ゆたかに力たくましく」をスローガンに、第32回大会「あすなろ国体」が開催され全国からトッププレイヤーが結集し、熱戦を繰り広げ、その後、県全域のスポーツの普及・発展や地域づくりの礎となりました。

本村では、スポーツを推進するための基本理念として「スポーツによる笑顔で活力に満ちた村づくりの実現」を定めており、生涯スポーツや競技スポーツの推進、またスポーツによる地域活性化を図るための取り組みを進めています。

国民スポーツ大会の開催は、本村の自然豊かな魅力を全国に発信する絶好の機会であると同時に、トップクラスの選手の技に直接触れることにより、地元の選手の発掘・育成、さらには、健康で活力に満ちた地域づくりの実現に大きな力となるものであります。

本村においては、平成9年からカヌーに取り組み始めて以来20年以上が経過し、カヌー選手や関係者の移住、世界トップレベルのイタリア代表チームの事前合宿誘致、そしてホストタウン登録など、「カヌーの村」として周知されてまいりました。

そのような中で国民スポーツ大会が開催されますことは、一層スポーツによる観光や地場産業など各分野への波及効果が期待されます。

本大会を成功に導くため、村民や関係団体、行政などが一丸となって取り組んでいく必要があります。村民総参加のもと、おもてなしの心で本村らしさを活かした大会となるよう、ここに各界の代表者等の参画を得て「第80回国民スポーツ大会西目屋村準備委員会」を設立します。

令和2年3月24日

西目屋村長 関 和典